



三つの約束

- あいさつ
- 整理 整頓
- 時間を守る

児	1年生28名	4年生29名
童	2年生27名	5年生47名
数	3年生43名	6年生45名
	にじいろ1組 3名	2組 4名
	[全校児童数] 226名	

子どもたちの「小さな進化」を大切に ～一人一人の「キラリ」が輝く学校を目指して～ 校長 平川 泰樹

早いもので本日、1学期の終業式を終えることができました。子どもたちは、新しい学年、新しい友達、新しい先生との出会いの中で、多くのことを経験し、一步一步着実に成長し、そして、「進化」してきました。

「進化」と聞くと、大きな成果や目に見える成功を思い浮かべるかもしれませんが、しかし、子どもたちの成長という「進化」は、日々の生活の中にある小さな変化の積み重ねによって育まれていきます。昨日より少し早く準備ができたこと。友達の話最後まで聞くことができたこと。自分から進んであいさつができたこと。苦手なことにも「もう一度やってみよう」と挑戦できたこと。やりたいと思っていることを一度やめ、行動を切り替えることができたこと。その一つ一つが、子どもたちのかけがえのない「進化」であり、それが「キラリ」輝く瞬間です。



サツマイモの苗植え体験

本校では、「笑顔がキラリ輝く元気な学校」を学校経営の柱に掲げ、「子ども一人一人のキラリ」を見付け、認め、伸ばす教育を進めています。結果だけを評価するのではなく、「がんばったこと」「工夫したこと」「挑戦したこと」に目を向け、その努力を価値付けることを大切にしています。認められる経験を積み重ねることで、子どもたちは「またやってみよう」という意欲をもち、自信を育みながら次の一步を踏み出していきます。

そのために、「学びのスイッチづくり」を教育活動全体で意識してきました。子どもたちは、「やらなければならないことは分かっているけれど行動に移せない」「気持ちを切り替えることが難しい」「目の前のことに気を取られてしまう」など、一人一人異なる発達の特性をもっています。だからこそ、学校では「次は何をするのか」「今、何を大切に時間なのか」を分かりやすく示し、見通しをもって生活できるよう工夫しています。また、一日の生活や授業の節目を意識した声掛けや振り返りを積み重ねることで、自分の行動を調整する力や気持ちを切り替える力、最後までやり抜く力など、いわゆる「実行機能」を育むことを教職員全体で大切にしてきました。

また、今年度は4月の生活目標をきっかけに、全校で「あいさつ」の取組を進めてきました。あいさつの大切さはわかっている中々実行に移せない子が多くいる、そういった実態を踏まえて、あいさつを「実行できるようにすること」に力を入れてきました。今では朝から校内では、先生からだけでなく、子どもたち同士が笑顔で「おはようございます」と声を掛け合う姿が増えてきました。また、廊下や地域でも、自分から進んであいさつをする子どもたちの姿が見られるようになり、保護者、地域の皆様からも温かいお言葉をいただいています。



登校時のあいさつ

あいさつは、単なる礼儀ではありません。相手に心を開き、「あなたを大切に思っています」という気持ちを伝える最初のコミュニケーションです。自分から先にあいさつをすることはとても勇気がいることです。しかし、その一歩、実行できたことが人と人とのつながりを生み、安心できる学校づくり、地域づくりに、さらには生きる自信へとつながっていくのです。そして、このような安心感があるからこそ、子どもたちは自分らしく学び、自分の考えを表現できるようにもなるのです。

授業では、「向かい合う習慣」と「尊重される体験」を大切にしてきました。友達の話最後まで聞くこと。自分の考えを安心して伝えること。違う考えに出会っても、「なるほど」「そういう考えもあるね」と認め合うこと。困っている友達に自然と声を掛けること。こうした経験を積み重ねることで、子どもたちは互いを尊重しながら学び合う力を身に付けています。「自分の考えを聞いてもらえた。」「友達が認めてくれた。」「みんなで考えたら分かった。」そのような実感が、「わかった」「できた」だけでなく「わかってもらえた」という喜びにつながり学びへの意欲をさらに高めていきます。



1学期を振り返ると、子どもたちは本当によく成長しました。もちろん、毎日が順調だったわけではありません。失敗したことや悩んだこと、友達との関わりの中で戸惑ったこともありました。しかし、その経験があったからこそ、自分で考え、友達と話し合い、助けを求め、もう一度挑戦し、実行できる力が育ってきたのです。その姿こそが、私たちが何よりも大切にしたい子どもたちの「小さな進化」です。お子さんのこの1学期の「キラリ」をご家族で振り返ってみてください。キラリをもう一度思い起こすことで、豊かな記憶が編み込まれていき、子どもたちの自己肯定感を育むことに貢献するはずですよ。

明日から始まる夏休みは、学校では経験できないことに挑戦できる貴重な時間です。読書や運動、お手伝い、地域での活動など、日常生活の中で小さな挑戦を積み重ねることが、2学期の大きな成長へとつながります。これからも学校・家庭・地域が手を携えながら、子どもたち一人一人の「キラリ」を見付け、小さな進化を認め、励まし、自信へとつなげていきたいと思います。

地域の皆様とキラリ

4月～7月までたくさんの活動を行っていただきました。定例の見守り、ベルマーク、図書、臨時の給食、除草作業、ビオトープ学習、樹木伐採、ボールの穴あけなど、どれも子どもたちの活動を裏から支える活動です。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

また、7月からはPTA 校外委員さんから意見をいただいていた、下校時間短縮に取り組んでいます。学校全体で下校時間を短くするために声掛けをしたり、励ましたり、教員による下校時に見回りを行ったりしています。見守りの皆様の負担にならないようにこれからも指導してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

応援団活動へのご協力のお願い

現在定例で行っているベルマーク活動ですが、お家にベルマークがある方は是非、中富小までベルマークの寄付をお願いいたします。この夏休みなどにお子様と探してみてください。これからも子どもたちの活動に役立つ物のためにベルマークが必要となります。ぜひ、ベルマーク収集にご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

また、2学期も定例の活動を始め、除草作業やビオトープ学習、テニスボールの穴あけ作業を予定しております。時期が決まりましたら、「学校だより」や「ほっとメール」でお知らせいたします。学校応援団の活動に興味のある方は、いつでも見学可能です。また、下の OR コードより参加申し込みをお願いします

学校からのお願い

○外壁工事について

現在中富小学校では、雨漏り対策のため、校舎裏の外壁工事を行っております。工事に伴い、給食室側の駐車場にトラックが出入りしております。お迎えなどでお車で来校される際には、ご注意ください。

○お車での来校について

学校周りの道路は、正門前右折（左回り）で通行するように願います。また、道幅が狭く、近隣の住民の皆様のご迷惑とならないように、速度を落として（徐行運転）通行するようにお願いいたします。

○児童の送迎について

遅刻や早退等で児童を送迎する際は、職員玄関前にあるインターホンで、学年、お名前を伝えた上で、教室（保健室）まで送迎をお願いいたします。

販売学習でキラリ

7月1日～3日の3日間、にじいろ学級の児童がジャガイモを保護者の方へ販売する学習を行いました。このジャガイモは、今年の同学習で得た売り上げをもとに新しい種イモを買ってジャガイモを育てました。毎日の水やりを欠かさず行うなど、大事に育ててきました。また、販売に備え、秤を使って重さを量ったり、袋詰めをしたり、看板の作成や呼び込みの練習なども事前に練習したりしました。この学習は、子どもたちにとって自立と社会性を育むために重要な役割を持ちます。

なお、今年度の売り上げは、総額10,700円になりました。

この売り上げは、秋以降の苗の購入や、にじいろ学級の授業で必要な物の購入に充てさせていただきます。販売学習にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



夏季休業中の電話対応時間について

夏季休業中の電話対応は、職員の勤務時間内をお願いいたします。

午前8時25分～午後4時55分

それ以外の時間は、サマーフレッシュウィーク時の対応と同じとなりますので、ご承知おきください。

サマーフレッシュウィーク期間の対応について

8月11日～16日は閉庁日となり、職員は出勤しておりません。急用の場合は、

市教育委員会学校教育課（電話04-2998-9238）か

学校携帯（電話080-4198-5389）

へご連絡をお願いいたします。

